審査員賞

「じどうはんばいきのした」

（京都府 京都市）
京都市立鷹峯小学校　一年
山岡　倖太郎

「あったあー!!てーとどくかなあー。」ぼくがいちばん、わくわくするとき。
「あとちょっとてが、ながかったらなあー。あっそや、まごのてがあったらなあー。」
「まま、まごのてもってるか？」
「そんなんもってへんわ」。ぼくがいちばん、くっそおーっておもうとき。
じどうはんばいきのしたは、ぼくにとってあたまにきたり、にこにこになったり、なみだがでちゃったり、おとながじろじろみてきたり、いろんなかんじになるところ。
ぼくをいろんなかんじにさせるのは、じどうはんばいきのしたにおちてるほんもののおかね、こうじげんばのねじ、ちいさいちいさいらいと、おかねにに た、ぎんのまるいものとか、いろいろなんだ。
そうだ、こんなこともあった。ごきぶりほいほいのなかの、べたべたにくっついたほんもののおかねをみつけて、じどうはんばいきのしたから、ひっぱりだして、おかねをはがそうとしたけどとれんかった。しかもてのべたべたも、とれんかった。まままめっちゃめっちゃこわいかおで「てあらってきいーやー。」といいおったー。ぼくは、ひっしやったのに・・・・・・・
ぼくは、めっちゃおこられても、じどうはんばいきのしたはぜったいみてる。みつけたほんものの おかねをためてんねん。ままがでぃずにーらンどにつれていってくれへんから、ためたおかねで、ぜったいにいってやる。
だから、じどうはんばいきは、たいせつやし、だいすき♡

じどうはんばいきのないところにうまれて、いきているこどももせかいじゅうにたくさんいるって、おりンぴっくをみながらままにきいた。じどうはんばいきのあるくににうまれて、めっちゃよかった。
「じどうはんばいきのした」ちゃん、これからもよろしくな!!